



来てみてギャラリー参加者 集合写真 2018年10月27日

# 仏法領

ぶつぽうりょう

第74号

発行：真宗大谷派  
念信寺  
〒824-0202  
福岡県京都郡みやこ町厚川上高屋761  
☎ 0930-42-0329  
Fax 0930-42-0502  
ホームページ  
nenshinji.org

## 御正忌・報恩講

11月21日(水)

〜24日(土) 朝・昼

## ご案内

勤行 正信偈念仏和讃  
法話

21,22日 藤澤信照師(滋賀・浄光寺)  
23日 岩尾豊文師(湯布院・法蓮寺)  
24日 住職

お誘い合わせでご参詣ください

※詳しくは4ページをご覧ください。



## 町おこしイベント

「おらが町に来てみてギャラリー」に参加  
ご協力ありがとうございます!

実行委員長 吉田 正和



好天に恵まれ五〇〇名ほどの  
来寺者で賑わいました。3  
回目でもあり、マンネリ化  
にならないよう出品も世  
話人さんを通じて幅広く集  
め、前回よりも多い五〇名の方に  
参加をいただきました。

また、受付の混雑を緩和するため記帳等を簡  
略にしてアンケートを箱に投函していただくこ  
とにしました。今後の参考になるかと思えます。

お茶会で締めさせていただきましたが、出展  
者、お手伝いの方、実行委員の皆様、大変ご苦  
労様でした。

今年も

有難うございました!

ギャラリー参加の目的は、念  
信寺を知らない人には、お寺に  
来て親しみを感じてもらおうこ  
と。門信徒のみなさんには、自  
分たちのお寺だという意識を持  
ってもらいたいということとし  
た。

平常は立ち入り禁止の内陣余間  
を解放して別の視点から本堂を見  
ると、新たな発見があり、伝統的  
な荘厳の美しさや人々の集う賑や  
かさに感動しました。(住職)



第3回

念信寺ギャラリーを終えて  
アンケート結果を中心に

この度、念信寺ギャラリーは、絶好の行楽日和も相まって参加者も多く、賑やかに無事終了出来たことは、実行委員の一人として、またお寺に住む者として非常に有難く嬉しく、これもひとえに吉田実行委員長のリーダーシップのもと、委員・出展者・加勢人の皆さん一丸となつての賜と感謝しております。今回は3回目でもあるため、客観的な評価を得るという目的で来場者への簡単なアンケートを作成、調査を実施しました。アンケート結果を見る限り、来場者の意見は全体的に非常に高評価でした。しかし、カウントされた来場者を約500名としてみると、受付名簿には約半数の記載しかなかった、したがってアンケート用紙も全員には配布されず、結果アンケートの回収数は99名、僅か19%と少ない回収率でした。2割の人の意識調査結果で全体を評価することは、かなり偏つたものになりかねませんが、アンケートに協力して下さった方々の好意を無駄にしないためにも、結果を簡単に考察したいと思いま



す。一応丁寧に集計・データ処理・分析をしました。総来場者数から見ると回収率が低いので単純な評価は難しいですが、明らかに傾向は出ているように思われます。

◆来場者(回答者)の背景(表1参照)

来場者は、60・70歳代の女性で66%と最も多く、半数以上を占めました。念信寺のギャラリー参加は初めての人が57%と多く、住まいは犀川・行橋・豊津の順に多く併せて53%と、近隣からの来場者が多いことが伺えました。一方で少数ですが、少し遠方の大分市、若松、八幡、直方、中間、小郡、東京からという人もいました。

◆興味深かったもの(表2参照)

とくに興味深かったものは、お寺そのものと約半数の46%が答えており、次いで展示、ぜんざい、おでん、即売の順でした。



述した人がいました。利益度外視で実践しているのが当然と考えられます。即売品も売れ行きは好調でした。

◆念信寺ギャラリーの感想

非常に良かった31%、良かった68%で両者併せて99%のほぼ全員が良かったと答えています。良くなかったと答えていた人が全くなかったことは、念信寺ギャラリーとして高く評価して良いと考えます。広い境内を加勢人全員がそれぞれの担当分野で力を発揮・結集し、盛り上げた結果だと考えます。

◆念信寺ギャラリーの何が良かったか

お寺そのものの48%、展示42%と約半数の人が答えています。よそにはない非日常的な空間、広い展示場など環境的にも物珍しく興味深いものがあつたことが伺えます。展示も毎年の事ながら力作が多く、個人的にも見ていて飽きませんでした。写経も茶室もアンケート回答者以外で挑戦した人が増えたように感じました。その他に「お庭の木々」と記述した人もおり、個人的には、庭の手入れをすればかりで良かったなと思いました。今年初めてのドングリ工作も大盛況でした。いつも近辺に子供が少ない上高屋も、いつになく子供達が本堂に多く集まつて、楽しそうに独創的な作品を作り上げて喜んでいました。



る様子は見ていて嬉しくなる場面でした。

◆来年、念信寺ギャラリーに参加したいか

参加したいと過半数の72%が答えています。一方で参加したくない、分からない人も併せて20%いましたが、念信寺ギャラリーを非常に良かったと評価した人達の回答で個々の事情からの意見かとも考えられます。

◆念信寺ギャラリーへの意見・感想他(表3参照)



一部抜粋して表にまとめています。基本的に高評価の感想が多いですが、問題点への意見もあり、今後の参考にしたいと考えます。

◇次年度のギャラリーをどうするか

住職が今回のギャラリー終了後の挨拶で、次年度も実施したい、協力をお願いしたい旨の発言をしておりました。さて、次年度に向けてどうしたらいいのでしょうか。今回盛會に終わりましたが、関わって下さった方々の疲労は相当だったのではないかと推察します。出展者の確保もさることながら、ギャラリーを運営するためには毎回の事ですが、加勢人の確保が最優先のように思います。全員が年々トシを重ね体力・健康状態に問題が増える状況の中、まだ体力に自信がある人達への働きかけなど、これから1年掛けて折りに触れての協力体制作りが課題です。なおかつ素人の集団です。試行錯誤を重ねながらも加勢人の業務内容の効率化も重要だろうと考えます。今後とも協力賜りますよう、よろしく願います。(坊守 村上寿子)



念信寺だより



には配布されず、結果アンケートの回収数は99名、僅か19%と少ない回収率でした。2割の人の意識調査結果で全体を評価することは、かなり偏つたものになりかねませんが、アンケートに協力して下さった方々の好意を無駄にしないためにも、結果を簡単に考察したいと思いま

表1 n=99

性別	女性	52%	男性	11%	無回答	33%	
年齢(歳)	60代	39%	70代	27%	50代	15%	
	40代	7%	30代	4%	80代	3%	
	90以上	1%	12未満	1%			
来場回数	1回目	57%	3回目	20%	2回目	19%	
	犀川	23%	行橋	19%	豊津	11%	
	遠賀	9%	苅田	9%	北九州	8%	
主な住所	他	勝山	築上郡	豊前市	大分市	直方	中間など

興味深いもの(表2参照)

表2 n=99

とくに興味深かったもの(複数回答)	お寺そのもの	展示	ぜんざい	おでん	即売	写経	工作	その他
	46%	41%	31%	29%	16%	10%	7%	4%
念信寺ギャラリーの感想	非常良かった	良かった	良くなかった	全く良くなかった	無回答			
	31%	68%	0	0	1%			
何が良かったか(複数回答)	お寺そのもの	展示	即売	写経	飲食	茶室	工作	その他
	48%	42%	24%	13%	10%	9%	6%	7%
来年、念信寺ギャラリー参加希望の有無	参加したい	参加したくない	分からない	無回答				
	72%	3%	18%	7%				

意見・感想他(表3参照)



表3

皆さんに大事にされているお寺だと思いました。60代F
飲食コーナーではサービスが行き届き、心配りが嬉しかったです。60代F
とても活気があって子供たちも楽しんで良かったです。2人
展示品は全て素晴らしいです。70代F
茶室はとても楽しみです。年を取り足が悪く、茶室の中にテーブルを置いていただければ最高です。70代F
心こもった接待をしていただきありがとうございました。故郷に帰った気持ちになりました。70代F
心休まる時間を過ごせました。ありがとうございました。50代F
楽しかった。12歳未満F
なかなかお年寄りしか来ないお寺へ若い人や子供が来ることはとても良い事だと思います。60代F
来年も参加したいが、各間距離の記入が欲しいです。車で何キロ、何分。歩行で何分など。70代F 2人
階下の展示の案内の表示がなかったのがちょっと不足。60代F
内仏間への案内が分かりにくかった。他は接待も良かった。70代M
来年も楽しみにしています。50代F 60代F

念信寺だより



絃ちゃんの独り言



地域ネットワーク・元気まちづくり実行委員会主催の、おらが町に来て見てギャラリーに、10月27、28日の二日間、出品参加しました。今年で3回目の参加ですが、準備、後片付け等何もしなくてただ、野菜(小松菜)を出品するだけの参加で、実行委員の皆様には大変申し訳なく思っています。

岩石トンネルを通れば念信寺までは30分位、途中崎山辺りより黄色の幟旗が目についてくる。本庄池近くの会場ではスタッフの皆さんが忙しく準備をしている姿を見ながら通りすぎる、町の活気を感じながらお寺に到着。早速、野菜をテーブルに並べる。本堂から境内に絵画や書、陶器類、加工食品、野菜等々いろんな物が並べてある。お客さんもそろそろ見える頃だ。朝食抜きだったので婦人部のぜんざいを頂く。甘過ぎない大変美味しいぜんざいを食べ、後をお願いし帰路につく。

今年で16回目との事、継続は力なり。地域の皆さんのふるさとを思う気持ちに感動します。(尾形絃光)



クラフト作り

中村 美幸

10月27、28日にみやこ町の旧犀川町の地域活性化を目的とした「おらが町に来て見てギャラリー」に念信寺さんの一角でドングリ、ナンテン、マツボツクリなどの木の実を用いたクラフト作りを催しました。



念信寺さんのある校区の子供たちは7人と聞いていましたので、クラフト作りに来てくれるのかなと心配していましたが、おじいちゃん、おばあちゃんに連れられた都会のお孫さんも来てくれて2日間で約30名強の小学生が楽しんでくれました。その中にはおじいちゃんを引っ張り出して2日間とも来てくれた北九州市の子供もいて、都会の子供たちには自然や森に接する良い機会になったのではと嬉しく思いました。来年も子供たちが喜んでくれるような催しを企画したいと思っています。



秋のお彼岸法要のし。ポート

日時 九月二十八日(土)三十日(日)  
講師 瓜生 崇先生(滋賀県 玄照寺住職)

瓜生先生は波乱の半生を経験された人で結婚相手がたまたまお寺の娘さんだったことから努力されて僧侶になられました。それ以前は浄土真宗系の新宗教に入信して講師まで務めていたことはあるようですが、伝統教団の僧侶の経験は浅く、疑問や鋭い指摘もお待ちの方でした。



ある「道俗時衆共同心」を引合いに出されました。これは善導大師の「道俗時衆等 各発無上心(お坊さんも俗人もおの無上の心を発せ)」という言葉から引用されていて、阿弥陀如来からの呼びかけで真実を求める心を起こしなさいという意味だそうです。親鸞聖人はさらに「皆さん無上の心を発して精一杯生きてきたでしょうが、しかしそのつど事情に流されてきたのではないのでしょうか。それはいわば命と交換しているのです」と。命をすり減らして空しく生きている。基には死ということがあつて、むなしさはなくならない。「南無阿弥陀仏」がそんな私を突き破るのです。東本願寺の門前には「生まれたる意義と生きる喜びをみつめよう」という標語がある

そうです。ブツダの教えでは人は欲望があつて欲望を充足しようとするから幸福が得られない。欲望の物差しは人間が持っているのです。例えば六十八歳まで生きた人は六十八歳は長生きと思えばいいし、年収八〇万の人はそれが金持ちだと思えばいいんです。



欲望は充足されればされるほど、ますます欲望が膨れ上がる仕組みになっている。欲望を充足することは逆効果、欲望が苦しみを生むことに気づくべきです。老病死のいずれも思うがままにならない。原理(真理)を明らかにした先に見えるものは、明らかに知る(諦念)という仏教用語の意味の諦めです。仕方なしにあきらめるという意味ではありません。悟る＝明らかにする。自分の物差しを捨て、どちらでもよいと明らかにする。

「思うがままになることと、ならないことをしっかりと明らかにして、思うがままにならないことを思うままにしようとするな!」。これがゴータマ・ブツダの教えです。私たちは勝手に苦しんでいるのです。「苦をなくそうとするから愚かなのです」「苦をなくすことはできません!」「苦がなくなるのではなく、苦でなくなる。」



合掌



いつものおいさん

今回は長い文章になりましたが、ブツダの教えの一端に触れられればと思ひ易しく綴ったつもりです。



**御正忌・報恩講のご案内**

皆様には、時下ますます「清祥のことと存じます。はや、年の瀬も近くなりました。報恩講は親鸞聖人のご命日を「縁とする法座で、真宗門徒が最も大切にしてきた法要です。」

「ご参詣聴聞くださいますよう、「ご案内申し上げます。」

日時 十一月二十一～二十四日

日時	午前	午後
二十一日(水)	法話二席 おととき	十二時 午後一時 法話二席
二十二日(木)	法話二席 おととき	法話二席 ご伝鈔・法話
二十三日(金)	法話二席 おととき	法話二席 大連夜・
勤勞感謝の日		子ども報恩講 講話 感話
二十四日(土)		登高座・門徒焼 香、法話

講師

藤澤 信照 先生 二十一～二十二日

滋賀県東近江市甲津畑町 浄光寺住職  
浄土真宗本願寺派行信教校講師、布教使課程専任講師



岩尾 豊文 先生 二十三日

大分県湯布院町 法蓮寺住職 大分組長

※車の送迎は遠慮なくお申し出下さい。

二〇一八年十一月 みやこ町厚川上高屋 妙見山 念信寺  
☎0930-42-0329

岩尾先生のコメント

報恩講には親鸞聖人の御一生を掛け軸にした「御絵伝」を本堂余間にお掛けして聖人の「生涯を偲んできました。今回はスライドに映して、お念仏の教えに親しみたいと思います。

来年の法座予定

二〇一九年

●春彼岸法要

三月三〇(土)～四月一日(月)  
祖父江 佳乃 師  
(名古屋市)

●皆作永代経彼岸法要

六月二十九(土)～七月一日(月)  
松月 博宣 師  
(糸島市)

●秋彼岸法要

九月二十八(土)～三十日(月)  
瓜生 崇 師 (滋賀)  
落語会 未定

●「正忌・報恩講」

十一月二十一(木)～二十四日(日)  
講師 未定

行事予定

●犀川二十八日講・婦人会

12月6日(木) 午後1時半 山鹿公民館

●四日市別院報恩講 団体参拝

12月13日(木) 午前8時半よりバス参拝

●除夜の鐘

12月31日(月) 念信寺鐘樓堂



9月28日世話人会議



10月19日来てみてギャラリー会議



11月4日即傳寺住職継職



10月20日善徳寺住職継職



10月12日組婦人総括研修 於安勝寺



10月16日婦人部門会議

10月22日育成員研修 於通善寺

お寺の催し・活動

東別院 おとりのこし

# 報恩講

2018年 12月12日(水)～16日(日)  
掃敬式(おのみそり) 15日・16日

9時～24時 本堂(おのみそり) 12月15日  
TEL: 0978320854 / FAX: 0978320892

四日市別院報恩講 京都組 団体参拝

バスでお参りします!

★参拝日 2018年12月13日(木)

★料費 4,000円  
(おととき500円を含む、バス代は別途お支払いします。)

★申込み締切 12月4日 お待ちしております

★参加日程

5:30	バスで四日市別院集合
10:00	別院中
12:00	法話(若光燈籠/日暮教区)
12:15	おととき
13:00	『御絵伝』上演
15:30	帰郷

★団体バス運行予定  
-犀川地区  
豊高寺前 8:30出発  
豊高寺前-犀川駅-別院

★未参/豊津地区  
古谷河内 8:00出発(4時以降は別院集合、送迎して下さい)  
古谷河内の橋 一伊良良役場 一城井郵便局 一  
北原バス停 一豊津役場前 一観音郵便局前 一別院

◆掃敬式 変式申し込み  
12月15、16日に、おのみそり・法話をいただきます!  
申込締切11月15日  
日まで、賛助金15000円を添えてお参り。

寺報編集会議

寒い冬はもうすぐそこまで来ていますよ。今年も、あと二ヶ月。やり残したことを、しようかな。

大迫光浩

▼「空きの日は釣瓶落とし」高屋の秋は朝霧と一緒にやって来る。

あとがき

11月4日即傳寺住職継職

10月22日育成員研修 於通善寺

10月16日婦人部門会議

10月12日組婦人総括研修 於安勝寺

10月20日善徳寺住職継職

10月19日来てみてギャラリー会議

9月28日世話人会議

▼「空きの日は釣瓶落とし」高屋の秋は朝霧と一緒にやって来る。

あとがき

11月4日即傳寺住職継職

10月22日育成員研修 於通善寺

10月16日婦人部門会議

10月12日組婦人総括研修 於安勝寺

10月20日善徳寺住職継職

10月19日来てみてギャラリー会議

9月28日世話人会議